



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県栃木市西方町本城 1 0 6 2 番地 8

氏 名 株式会社DNPファインケミカル宇都宮

代表取締役 藤井 英明

電話番号 0282-92-0321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社DNPファインケミカル宇都宮		
事業場の所在地	栃木県栃木市西方町本城 1 0 6 2 番地 8		
事業の種類	1639 有機化学工業製品製造業 1651 医薬品製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙1のとおり t	全処理委託量	別紙1のとおり t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙1のとおり t	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1のとおり t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙1のとおり t	再生利用業者への処理委託量	別紙1のとおり t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙1のとおり t	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1のとおり t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙1のとおり t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1のとおり t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度	736.982 t
		前年度	550.381 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 全ての廃棄物において外部へ処理を委託する際、電子マニフェストシステムを利用した。			
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

(特別管理産業廃棄物の種類：燃えやすい廃油)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①240.877

項目	実績値
①排出量	240.877
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	240.877
⑪優良認定処理業者への処理委託量	240.877
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況		(特別管理産業廃棄物の種類： pH2.0以下の廃酸)	
有償物量			
不要物等発生量			
排出量	① 115.712		
自ら直接再生利用した量	② 0	自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0
自ら直接埋立処分した量	③ 0	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 0
自ら中間処理した量	④ 0	自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 0
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0	自ら中間処理により減量した量	⑦ 0
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 115.712
⑩全処理委託量	115.712	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 115.712
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	⑫ 0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	⑬ 0
⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①193.79

自ら直接再生利用した量

②0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪193.79

自ら中間処理した後の再生利用した量

⑧0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩193.79

項目	実績値
①排出量	193.79
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	193.79
⑪優良認定処理業者への処理委託量	193.79
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

193.79
0
0
0
0
193.79
193.79
0
0
0

(第2面)

計画の実施状況		(特別管理産業廃棄物の種類：汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）)	
有償物量			
不要物等発生量			
排出量	①	0.001	
自ら直接再生利用した量	②	0	
自ら直接埋立処分した量	③	0	
自ら中間処理した量	④	0	
④のうち熱回収を行った量	⑤	0	
自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0	
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0	
④のうち熱回収を行った量	⑦	0	
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	0.001	
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0.001	
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0	
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0	
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0	

(第2面)

計画の実施状況		(特別管理産業廃棄物の種類： 廃アルカリ (基準値を超える有害物質を含むもの))	
有 償 物 量			
不要物等発生量			
排 出 量	①	0.001	
自ら直接再生利用した量		②	0
自ら直接埋立処分した量		③	0
自ら中間処理した量		④	0
④のうち熱回収を行った量		⑤	0
自ら中間処理した後の残さ量		⑥	0
自ら中間処理した後の減量した量		⑦	0
自ら中間処理した後再生利用した量		⑧	0
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑨	0
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑩	0.001
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		⑪	0.001
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑫	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量		⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭	0

項目	実績値
①排出量	0.001
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.001
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.001
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物

令和5年度実績値及び目標値

	燃えやすい廃油		燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)		p H2.0以下廃酸		p H2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)		p H12.5以上の廃アルカリ		廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)		汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)		廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	
	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和5年度)	目標[t] (令和5年度)
排出量	240.877	385.859	0.000	0.000	115.712	141.254	0	0	193.790	193.071	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	240.877	385.859	0.000	0.000	115.712	141.254	0	0	193.790	193.071	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000
優良認定処理業者への処理委託量	240.877	385.859	0.000	0.000	115.712	141.254	0	0	193.790	193.071	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位: t

特別管理産業廃棄物		令和5年度 実績排出量(t)	令和5年度 目標量(t)
燃えやすい廃油		240.877	385.859
燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)		0.000	0.000
p H2.0以下廃酸		115.712	141.254
p H2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)		0	0
p H12.5以上の廃アルカリ		193.790	193.071
廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)		0.000	0
汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)		0.001	0.000
廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)		0.001	0.000
合 計		550.381	720.184